

## モニタリング結果報告書

施設 花と緑のふれあいセンター  
 指定管理者 株式会社かながわGAパートナーズ  
 施設所管課 湘南地域県政総合センター

(平成 22 年度 上半期)

## 管理運営状況総括

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月6日	5月10日	概ね良好に行われている
5月	6月4日	6月10日	〃
6月	7月5日	7月9日	〃
7月	8月3日	8月10日	〃
8月	9月3日	9月10日	〃
9月	10月5日	10月8日	〃

## 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

## (1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る  B：提案どおり  C：提案を下回る

## (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

## &lt; 提案内容の概要 &gt;

安全を最優先に、訪れるすべての入園者が満足できるようなサービスを提供しながら、園芸文化の普及と農業への理解の促進につながる事業運営を行う。

- ① 公の施設としての政策目的に沿った健全な運営のほか、その設置の趣旨にしたがい、花と緑や農業への関心を高め、庭のある暮らしが県土に広がるような運営を図る。
- ② 開園当初が最も輝きのある施設ではなく、次代の子どもたちへとつなげながら、時を経るにしたがい花と緑がいきいきと充実し、人々に愛される運営を行う。
- ③ 観賞する楽しみだけでなく、園内に植栽された花や緑、さらには、農作物を活用した様々な楽しみ方や暮らし方を提案する運営を行う。
- ④ 需要推計に基づく入園者の確保と安定的な運営を行うため、テーマ性と訴求力のあるブランドづくりを図り、社会が常に注目する運営を行う。
- ⑤ 安全、快適、かつ効率的に本センターを利用できるよう適切な点検、保守、修繕、運転、監視を行うとともに、事故や危険から来園者の安全の確保に努める。

## &lt; 実施状況 &gt;

## ○ 展示事業

- ・ 花きの栽培展示については、春の低温多雨、夏の猛暑といった厳しい気象条件であったが、クレマチス、バラ、ユリ、サルスベリ等のコレクション植物が開花期を迎えたほか、バラやコスモス等で17の新品種を新たに導入し、最新の園芸品種等の植栽、展示を行った。
- ・ また、県内で育成された花き、野菜等の農作物を栽培展示し、県内農業の理解促進を図るとともに、季節に応じて様々な展示会（10回）を実施した。

## ○ 体験学習事業

- ・ 子どもたちが農業のことを楽しみながら学ぶことができる気づき体験学習プログラムを本格的に展開した。学校等を対象とした学校プログラム（31回）、主に親子を対象とした土日等有料プ

プログラム(330回)を実施したほか、夏休みにあわせて子ども向けの特別プログラムも実施した。

- ・ 気づき体験プログラムを効果的に実施するとともに、県内農業の状況を紹介するため、水稻、トマト、ナス、ラッカセイ等の県内で生産されている主要な農作物を園内で栽培展示した。
- ・ また、園芸や農業に関する各種講座(園芸教室14回、農業講座1回)を実施した。

○情報提供事業

- ・ ホームページ等により園内の開花情報や植物の栽培管理に関する情報を提供したほか、最新の農業及び園芸関係の図書・雑誌類を用意し、来園者の利用に供した。このほか、施設の利用促進等を図るため、新聞折り込みチラシの作成や各種広報媒体を利用して施設のPRに努めた。
- ・ また、来園者等からの農業・園芸相談(延べ365件)を受け付けた。

○イベント事業

- ・ 春のローズフェスティバル、七夕関連イベント、夏休みにあわせたサマーキッズフェスタを開催したほか、関係機関との共催によるサブイベント等を実施した。(計12回)

○県民参加事業

- ・ 県民参加型の施設運営の一環として、花き愛好者団体による展示会(12回)を実施するとともに、園内の植栽等について、継続的にお手伝いいただくサポーターの活動支援(延べ245回)を行った。

○その他運営業務

- ・ 周辺のひらつか花アグリと一体となった広報の実施や、地元自治会等とともにれんげ祭を開催するなど、周辺との連携を図った。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同期料金額)	その他収入			
年間予算額	238,069	60,606	157,988	19,474	238,069	0
上半期計 (a)	74,067	30,303	32,392 ( 0)	11,371	125,346	△51,278
下半期計 (b)	—	—	( )	—	—	—
4月	8,187	0	6,966 ( )	1,221	4	8,183
5月	18,912	0	14,832 ( )	4,079	0	18,912
6月	24,738	15,151	6,797 ( )	2,789	64,440	△39,701
7月	2,550	0	1,544 ( )	1,006	213	2,337
8月	2,269	0	1,054 ( )	1,214	72	2,196
9月	17,408	15,151	1,196 ( )	1,060	60,616	△43,207
合計 (a+b)	74,067	30,303	32,392	11,371	125,346	△51,278

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

全体的に入園者数が下回っていることに伴い収入も下回っています。夏休み用のプログラムを掲載した折込みチラシ等を実施したが想定ほどの効果は得られなかった。また、年間パスポートの利用者やレストラン等の2,000円以上利用者による駐車場利用の免除が計画より大幅に上回っている。来期の秋のイベントによる集客の回復を期待するとともに、団体客の誘致について検討が必要です。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況） 該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	81,360人	一人	—%
下半期計 (b)	一人	一人	—%
4月	16,131人	一人	—%
5月	33,363人	一人	—%
6月	17,240人	一人	—%
7月	5,733人	一人	—%
8月	4,013人	一人	—%
9月	4,880人	一人	—%
合計(a+b)	81,360人	一人	—%

#### 利用状況に関する意見等

（半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。）

#### 5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	0	0	0	2	2
5月	0	0	0	1	0	1
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・子どもの遊ぶ場所（遊具等）がほしい。	今後のイベント等において子どもが遊べるコンテンツを検討している。
	・雑草が多い	引き続き雑草管理を徹底
職員対応	特筆すべきものなし	
事業内容	・駐車場料金が高すぎる。（5月）	料金設定の変更ができない旨の回答をする。
	・開花情報の更新（HP等）	管理体制を変更して対応する。
その他	・バラの選定を見たくて来園したのに終わっていた。（8月）	管理上の工程については対応が難しい。明確な情報伝達に努める。
	特筆すべきものなし	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		実施なし	

## 9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理  
者

今期実施した宣伝活動や9月19日の10万達成イベントを含めた広報活動は、当園の認知度を高めている事は確かであるが、来園動機までつなげる仕掛けが必要と考えている。

当園の自慢である「薔薇の轍」をフューチャーしたイベントや地域・地元団体とのタイアップイベントも実施して、入園誘致を促進したい。引き続き来園者の満足度維持・向上を図るために、植栽のメンテナンスの徹底を行い、リピート率を確保しつつ、新規入園者に対するアプローチも必要である。

施設所  
管課

入園者数や利用料金等収入については、更なる施設の認知度及び魅力を高め、集客に向けた積極的な広報や代理店営業、また魅力あるイベントの実施等による入園者や収入の増の取組みをお願いします。